

## 市長と住民の「こんだん会」

～臥雲市長にアタック！地域の元気な声を届けよう～（報告）

- 開催日時 : 令和4年7月15日（金）午後7時30分～9時10分  
開催場所 : 寿台地区福祉ひろば  
開催テーマ : 「魅力ある地域づくりとは」  
開催内容 : 1丁目及び8丁目の再整備検討の説明  
寿台町会連合会、寿台福祉協議会、寿台壮青会の活動内容・課題・将来展望 フリートーク  
参加者 : 32名（市長、発表者18名、傍聴者12名、センター長）

### 1 市長あいさつ



### 2 1丁目及び8丁目の再整備検討の説明（住宅課 高野課長）

- ・国土交通省「公営住宅に係る PPP/PFI 導入推進事業」に寿台1丁目及び8丁目を対象地域とした提案が採択された。
- ・PPP/PFI とは、民間資金を活用し公共施設の整備・運営を行う官民連携
- ・コンサルタント業者からの提案は、2つの市営住宅を1か所に集約

- ・新たな居住者を呼び込む住宅の供給
- ・余剰地や既存商店街との連携により、子育て支援施設やコミュニティ活性化の検討
- ・今年度中に基本構想を策定

### 3 参加団体発表

#### (1) 寿台常任理事会(内山 博行 連合会長)

- ・本日のメインは寿台壮青会のメンバー
- ・昭和49年に寿地区から分離、本市では28番目の町会連合会(来年に創立50周年)
- ・地区内の運営は、すべて町会連合会が把握
- ・寿台の行事(イベント)は、町会連合会指揮の下に行われている



- ① 寿台夏まつり(神輿づくり・手作り露店・キッチンカー出店・中学生参加)
- ② 防災訓練(町会毎避難訓練・避難所開設訓練・中学生参加)
- ③ 子ども食堂(児童館)
- ・地区の課題
  - ① 少子高齢化で人口減少
  - ② 公営住宅の空き家・空地対策
  - ③ 狭小な市道
  - ④ 子ども対策(児童館の移転後の拠点)
  - ⑤ 地区内に地区公民館がない(福祉活動に利用できない)

#### 【市長コメント】

- ・寿台町会連合会は来年、町会発足50周年を迎える、節目の年
- ・松本市の人口は、南部で増加傾向
- ・隣接した寿台地区は、50年を経過して、町をリフレッシュするタイミング
- ・芳川と一体としたエリアで、利活用の仕方をきちんとできれば、需要がある
- ・県営住宅も含めて、トータルで、新しい町づくりのリスタート

(2) 寿台地区福祉協議会(浅田 淑子 会長)

・平成 27 年に松本市社会福祉協議会と福祉ひろばを一本化して発足

・主な活動内容

① 桜寿祭(スタンプラリー・ふれあい  
会食会)

② よりましょ(男性の居場所づくり)

③ かたらい(女性の語らいの場)

④ 寿台マルシェ(買い物弱者のため  
の出張販売)

⑤ スマホ相談会(デジタル弱者対策)

・課題

① サポーター(ボランティア)の高齢化

② 若い世代が入ってこない



【市長コメント】

・福祉の窓口を一本化していることは、他地区でも何らかのヒントになる部分

・活動については、地区の成り立ちも後押しもあって、独自性がある

・サポーターの高齢化は、どの地区でも深刻な問題

・若い世代が入ってこない理由を、若い世代から聴くことが重要

(3) 寿台壮青会(三澤さん・百瀬さん・渋谷さん・伴場さん・渡辺さん)

・壮青会の設立の経緯(壮年・青年世代の集いの場)

・寿台地区の世代間交流

・再整備検討には、地元の意見を聞いてほしい

・再整備検討の今後 1 年間の予定を教えてほしい

・市民が利用できる施設  
(こどものコミュニティなど)

・2 丁目商店街の再整備(コンビニ誘致)

・児童館の跡地に、地区公民館を移転

・移転した地区公民館内に、こどもプラザ等を設置

・バス路線の見直し(坂のある町)



#### 【市長コメント】

- ・ 壮青会の皆様には、新しい町づくりにぜひ参加してほしい
- ・ 50年が経過し、町全体を作り直せるチャンス
- ・ 本年度中に基本構想を策定する
- ・ 住民の皆さんに、地区全体を含めて提案をお願いしたい
- ・ 壮青会並びに寿台地区 50 周年記念となる活動として、基本構想の提案をしていただきたい
- ・ 単体でなく、地区全体で民間と公費を組合せることにより、可能性が広がる
- ・ コンビニ誘致等は、どう需要を作っていくかが大切
- ・ 5 年先、またその先を見据えて自分たちで新しい町を作ってほしい
- ・ 利便性のあるバス路線や公園建設は検討する

#### 【住宅課 高野課長】

- ・ 今年度は、夏場に庁内連携を整え、県との調整を行う
- ・ 事業者とのヒアリングの実施
- ・ 冬場に地元との意見交換会

#### 4 フリートーク

##### (岡 1 丁目町会長)

- ・ 再整備検討は、市として本当にやるのか

#### 【市長コメント】

- ・ 基本構想を作るまでは決定
- ・ 基本構想を策定できた時点で、最終決定する

##### (三澤壮青会発起人)

- ・ 昨年度から市は、デジタル化に伴い、配布物のペーパーレス化を進めている。
- ・ 他都市ではデジタル回覧板を取り入れている
- ・ 市でフォーマットを作成すれば、地区でデジタル化が進むので、フォーマットを作ってほしい

#### 【市長コメント】

- ・ ぜひ、取り組ませていただきたい
- ・ 情報発信は、基本デジタル化を進める
- ・ 秘書広報室と地域づくり課と調整・検討したい

(川手2丁目町会長)

- ・先ほどの国土交通省の事業は全国でどのくらい採択になっているか
- 【住宅課 高野課長】
- ・全国で、8か所。県内は上田市も採択になっている

(早川8丁目町会長)

- ・新聞に出る前に、町会へ説明が欲しかった
  - ・冬場に予定している地元住民との会議をなるべく早くお願いしたい
- 【市長コメント】
- ・説明が十分でなかったことは、お詫びいたします
  - ・関係業者が参画するかを見極め、地元とコミュニティを取っていく

(山本ワーカーズコープ代表)

- ・児童館が学校内にあると、地域との関りが弱くなる傾向
  - ・児童館と地域と協力して子どもを育てていく
  - ・地域でまるごと子どもを支えていく
- 【市長コメント】
- ・地域で、まるごと子どもを支えていくことの認識は同じ
  - ・児童館が学校内に入った途端、自由さが失われたり、排他的になることは変えていかなければと考えている
  - ・学校の施設を防災の拠点等として機能を上げていく
  - ・学校の施設を地域と共有して利用していく

## 5 市長全体講評



- ・ 50年経過して、どのように寿台が生まれ変わるのか、第2世代の皆さんに期待している
- ・ 来年の3月までに、民間資本を取り込み、同じ方向を向き、皆さんと共に作り上げたい
- ・ 広報媒体の在り方は、すぐに対応したい
- ・ 5年後を見据えた寿台のリニューアルは、寿台の皆さんのパワーを松本市へぶつけていただきたい

(閉 会)

#### 【参加者感想】

- ・ 市長と直接、お話ができ貴重な時間でした。
- ・ 短い時間でしたが、実りのある懇談会であった。
- ・ 市長のお話を聞くことができ、とても良い時間でした。

